

北鹿新聞 令和7年12月7日掲載

## ロボット 指示通り動け 小学生対象に教室 プログラミングに挑戦

大館少年少女発明クラブの  
児童を対象としたロボット教  
室が6日、大館市の秋田職業  
能力開発短期大学校で開かれ  
た。児童たちは車輪で走行す  
るロボットに前進や回転とい  
った動きを指示するプログラ  
ムを作成し、試行錯誤しなが  
らプログラミングに必要な考  
え方を学んだ。  
将来のものづくり人材を育  
てる「おおだてロボット人材  
育成コシンソーシアム」(白川懸  
士会長)の主催。プログラミ  
ングに親しみ、課題解決能力  
を培う狙いで毎年開催してい  
る。今回は初級と中級コース  
に市内7校の3~6年生17人  
が参加し、同校の職員や同ク  
ラブ会員が講師を務めた。

初級では、前進や停止とい  
った基本動作を組み合わせ、  
ロボットが決められたコース  
を走行するようプログラムを  
組み替えた。児童たちはパソ  
コンで作成したプログラム通

りにロボットが動くか何度も  
調整を重ね、指令通りに動く  
と笑顔を見せていた。  
鈴木優哉さん(長木小4  
年)は「秒数で動きが変わる  
のは難しいが、パソコンで入  
力した通りにロボットが動く  
のが面白い」と話した。  
中級では赤外線センサーを  
搭載したロボットカーを使  
い、より高度なプログラミン  
グに挑戦した。



プログラム通りにロボットが動くか  
テストする児童(秋田職能短大)